

# 風景街道「熊野古道伊勢路」推進協議会（仮称）

ニュースレター 第2号

発行：2006年8月

## 第2回推進協議会を開催！

8月4日（金）、熊野市保健福祉センターで第2回風景街道「熊野古道伊勢路」推進協議会（仮称）を開催しました。今回は8月7日に行われる日本風景街道戦略会議（石田委員、松田委員）による視察について意見交換をしました。

## 日本風景街道戦略会議による視察の行程について決定

視察目的は、「日本風景街道戦略会議がこれから制度や支援の仕組みを考えるために地域の取組や意見を聴くことである」ということを確認しました。

事務局より、事前に頂いた意見をとりまとめた行程案が示され、意見交換をしました。

○シーニックバイウェイという考え方からすれば、景観の良いわき道である国道311号を視察コースに入れたい。

○国道311号は時間がかかるため、紀北町三浦から豊浦の公園道路を通ってはどうか。

このような意見を反映し、下記の視察行程となりました。

### 【視察行程】

- 8:45 熊野川部会活動紹介（車中）
- 9:30 うどの地区花づくりグループの美化活動視察
- 10:30 花の窟神社視察  
熊野古道花街道の美化活動視察
- 11:00 木本古道通りまち歩き
- 11:15 意見交換会（紀南77-デザインセンター）
- 14:00 熊野古道センター視察
- 14:40 中井町通りまち歩き  
＜豊浦園地（リアス式海岸）視察＞（追加）
- 15:40 西長島まち歩き
- 16:15 膳の活動視察（そばのふるまい）

## 視察箇所の説明を各団体から紹介

熊野川部会の高橋さん、うどの地区花づくりグループの大田さん、熊野古道花街道の山本さん、松本峠・熊野市部会の和田さん、古道魚まち歩観会の大橋さん、膳の小倉さんから視察時に行う取組の説明を発表していただきました。

（取組状況の発表の様子）



## 熊野川部会

世界遺産の熊野川を活用し、川舟を使った交流空間づくりを進めています。川下りツアーを事業として立ち上げていきたい。

## うどの地区花づくりグループ

鶺鴒の町全体を公園化したい思いで取組が始まりました。花壇は大小あわせて16箇所あり、年2回植え込みをしています。私たちの特徴は、種から育てていること、全員参加のカレンダー方式で水遣りなどしていることです。

## 熊野古道花街道

国道42号熊野市内の整備時に国と意見交換し、花壇を整備していただきました。ボランティアが里親になり、花壇の手入れを取り組んでいます。その後花壇を延長していただき、花の窟花街道、七里御浜花街道の団体が誕生し、3団体で活動しています。

木本の海岸堤防は、国、県、市、ボランティアで20年ぶりに塗り替えました。

## 松本峠・熊野市部会

この地域の7つの町が木本古道通りという一つの組織となり活動が始まりました。木本探検クラブと称し、木本の歴史を調査して、来訪者へのもてなしを検討しています。

木本は、松本峠、千枚田、御浜街道を歩いて来られた方が休憩する所だったので、その役割の復活を目指しています。ゆっくりと「心の癒し」になるような町づくりをしていきたい。

## 古道魚まち歩観会

熊野古道から来たお客さんに、西長島にどうやって来てもらうかということを検討し、西長島の情緒、風情を味わうための町歩きマップを作成しました。また、地元陶芸サークルの協力によりマンボウの形のサインを製作・設置し、このサインとマップで現在地と目的地までの所要時間がわかるようになりました。

今後、旧嵐屋旅館をもてなしの拠点として整備していきたい。

## 膳

大内山の放棄農地に作物を作り、それをもとに地域の活性化を図っています。過疎化、高齢化により空き家も多いので、農業に興味のある人を引き込んで、耕地、建物を提供するなどして、我々の後継者づくりをしていきたい。

65代天皇がこの地域を通った伝説があり、古道魚まち歩観会に協力を願って、その道を開いていきたい。

(意見交換)

- 古道客が空き家・民家に宿泊できるようにしたいが、法的規制があるために難しいので規制緩和ができないだろうか？
- 目的別の道を設定することによって、「地域の活動を活性化するための考え」が出てくるのではないかな？
- 休校があるので何とか活用できないだろうか？
- 欧米人は自転車で旅行することがあり、ピレネーでも自転車で越えられる。自転車道をこの地域に整備できないか？
- 峠からまちなかへと歩くと国道42号を何回か渡る必要がある。道の駅海山ではバス停が駐車場の反対側にある。渡る箇所がないため、国道42号に横断歩道と信号を付けてほしい。
- 東紀州地域活性化事業推進協議会では、毎年、この地域のパンフレットなどを全国で配布するので、皆さんも活用してほしい。
- 紀勢国道事務所の地域づくり協議会で作成したマップを活用するのはどうか？
- 「とるば」を活用して地域をPRしてはどうか？

## 日本風景街道の取組に関する意見交換を行いました

(意見交換の様子)



事前に提出していただいたアンケート結果をもとに、意見交換を行いました。

日本風景街道の運動に期待すること、改善したい地域資源や活動内容、行政に望む支援などについて活発な意見交換がなされました。

## 次回は10月に開催予定

次回の推進協議会は10月に開催する予定です。また、日程調整を行いますのでご協力願います。

お問い合わせ・連絡先はこちら

\*\*\*\*\*

【事務局】

◎三重県 県土整備部 高速道・道路企画室

(担当：鈴木、堀)

TEL : 059-224-2739

FAX : 059-224-2310

◎三重県 県土整備部 景観まちづくり室

(担当：川北、福井)

TEL : 059-224-2747

FAX : 059-224-3161

\*\*\*\*\*